



【きゅうみつびしこうぎょうりょう】

旧三菱鉱業寮

戦前の民間企業倶楽部の遺構

この建物は、昭和12(1937)年頃、当時の三菱鉱業株式会社が、旧永山武四郎邸(24ページ)に附設する形で建築したかつての福利厚生施設である。

昭和60(1985)年9月、市街地再開発事業の一環として、当時の所有者三菱鉱業セメント株式会社から札幌市が譲り受け、平成元年より一般公開を開始した。

建物は、切妻造の洋館で、1階を下見板張、2階をモルタル刷毛引仕上とし、妻をハーフティンバー、西側の丸窓、上げ下げ窓、窓花台など大正・昭和初期のモダン洋館デザインが特徴である。内部は1・2階とも中廊下を通し、1階は応接室、会議室、電話室、従業員室等、2階は階段ホールに続く小ロビー、和室の宿泊室等を配し、戦前の民間企業倶楽部の遺例として貴重である。

保存活用工事等

貴重な歴史的資産として保存修理するとともに、新たな歴史観光文化スポットとして積極的に活用していくために、平成28(2016)年11月から平成30(2018)年3月まで耐震補強を含む保存活

用工事を実施し、渡り廊下で連結する旧永山武四郎邸(24ページ)と一体の施設として同年6月にリニューアルオープンした。

概要

○木造2階建・銅板葺

○建築面積 278.13㎡

2階和室



● 建築年代：昭和 12 (1937) 年頃

● 登録年月日：令和元(2019)年9月10日

● 所在地：札幌市中央区北2条東6丁目2番地

● お問い合わせ

旧永山武四郎邸管理室 ☎ 232-0450

● 観覧形態：内部観覧可

● 観覧時間：9時00分～22時00分

● 休館日：第2水曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)

● 観覧料：無料

● アクセス

地下鉄東西線「バスセンター前」10番出口より約680m
JRバス・中央バス「サッポロファクトリー」

